

R&Dプロフェッショナル人材をめざす

2017年2月6日(月) 開講

「R&Dマネジメント力」 養成プログラム

イノベーションを創出し、企業の持続的発展を図るための
「R&Dマネジメント力」を養成する

■「R&Dマネジメント力」養成プログラムとは■

本プログラムは、企業を持続的に成長発展させるために不可欠なイノベーションを創出することができる「R&Dマネジメント力」の養成を目的としております。各セッション(全4セッション)では、企業の競争力を高めるR&D戦略の立案、R&Dテーマのマネジメント、R&D組織と人財のマネジメントについて基礎から体系的に実務的視点から学ぶことができるプログラムでございます。

●本プログラムで修得できる「R&Dマネジメント力」●

- ◆未来に対してR&Dの方向性を定め、それを推進する力
- ◆現場で実際に生じる諸課題を正確に捉えて解決する力
- ◆創造性に富む人財を育み、R&Dを絶えず活性化させる力
- ◆たくさんの卵(研究テーマ)から、効率よくイノベーションを生み出すプロセス実践力

「R&Dマネジメント力養成」プログラム ~テーマ~

*本塾では例会ごとに下記のテーマを実践的に学びます。

I. 企業の競争力を高めるR & D戦略の立案

-R & Dの役割とイノベーションの本質

II. R & Dテーマ・マネジメント(1)

-R & Dテーマの発想・探索と企画

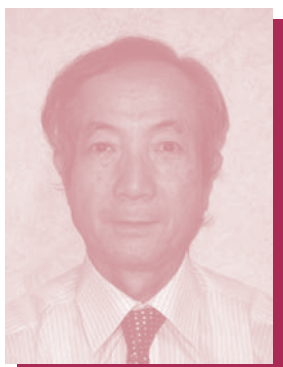
III. R & Dテーマ・マネジメント(2)

-ステージゲートとシナリオプランニングの融合によるR & Dテーマ推進

IV. R & D組織と人財のマネジメント

-イノベティブな組織(風土)の醸成と人財の活性化

■講師



【経 歴】

1971年学習院大学大学院修士課程化学専攻卒業。同年キヤノン(株)入社。中央研究所で電子写真研究・電子写真感光体の開発に従事。その後、感光体の生産部門を経て、化成品開発部門で多くの新規デバイス開発に関わる。1986年インクジェット研究開発担当となり、インクジェット用ヘッド、インクジェット用インク、メディア等の開発に取り組む。この間、＜研究→開発→生産＞のサイクルを2回経験。2000年材料技術研究所を設立。2006年1月同社を定年退職後、キヤノングループ各社の技術顧問を歴任。その他に(社)企業研究会研究アドバイザー、同研究会「R&Dマネジメント交流会議」アドバイザー、「開発塾」コーディネーター、東北大学「イノベーション創発塾」講師、企業での技術顧問等各方面で活躍中。

《著 書》「創発人材をさがせ」(日本経済新聞出版社)

一般社団法人 企業研究会 研究アドバイザー

(元キヤノン(株) 材料技術研究所 所長)

村井 啓一 氏

■講師からの言葉

誤ったマネジメントからイノベーションは生まれない

グローバル競争下で日本経済は低迷し、多くの企業が苦戦しています。根本的な解決には、経営革新による対応と共に“優れたイノベーション”を生み出す必要があります。優れたイノベーションは、既存事業の競争力向上と発展の原動力になるばかりでなく、新規事業をも創出することができるからです。

ところが、R&Dの現場では、イノベーションが生まれ難い現状があります。その対策として新しい組織の編制や、マネジメントの強化など様々な試みを行っても良い結果が生まれませんでした。なぜでしょうか。

その理由は、イノベーションを生み出すためのマネジメントが十分に理解されずに、誤ったマネジメントが行われていることにあります。突き詰めれば、良かれと思って行う従来型のマネジメントにこそ大きな落とし穴があるのです。

イノベーションが生まれる“しくみ”を理解し、マネジメントを実践する

イノベーションが生まれた背景には、いつの時代にも、どこの組織でも、普遍的な“しくみ”が存在します。その“しくみ”をつくり、十分に機能するマネジメントがあれば、必ずイノベーションは生まれます。

そこで本コースでは、企業に必要なイノベーションの本質の理解にはじまり、イノベーションを生み出すテーマ探索の方法とその推進プロセス、新規事業を生み出す考え方、さらにはイノベーションを生み出す人材と組織風土など順序立てて考察する力を養います。

その結果として、“しくみ”のつくり方を理解し、イノベーションを生むマネジメントを実践できると確信しています。

「R & D マネジメント力」養成プログラム

講師 村井 啓一

■セッションの進め方



講師による講義風景



参加者同士による意見交流

2/6
月

セッションI

企業の競争力を高めるR&D戦略の立案

1. R & Dの役割とイノベーションの本質
2. イノベーションが企業の未来を左右する
3. R & Dと企業の収益性
4. R & Dを先導するビジョンの重要性
5. 経営戦略、ビジョンとR & D戦略の整合性
6. 「トップダウン」と「ボトムアップ」
7. 価値を生む差異化戦略、知的財産戦略

2/20
月

セッションII

R&Dテーマ・マネジメント(1)

～R&Dテーマの発想・探索と企画～

1. 「研究」フェーズと「開発」フェーズのマネジメントの違い
2. 2種類のイノベーション(連続型、非連続型)とマネジメントの違い
3. 他社に差異化するイノベーションを生み出す
4. 自発的なテーマ創出のしくみの構築
5. リスクを軽減できるバランスマネジメント

3/6
月

セッションIII

R&Dテーマ・マネジメント(2)

～ステージゲートとシナリオプランニングの融合によるR&Dテーマ推進～

1. ファジーフロントエンドの重要性
2. テーマ発案と評価、選定へのマネジメント
3. ステージゲート法の本質
4. シナリオの作成プロセス演習
5. アイデアテーマのシナリオ作成による絞り込み
6. 研究推進ステージの複数シナリオを描く
7. 事業化、製品化と開発フェーズ

3/21
火

セッションIV

R&D組織と人財のマネジメント

～イノベティブな組織(風土)の醸成と人財の活性化～

1. R & D組織の役割
2. イノベーションが生まれる“しくみ”の構築
 - ～イノベーションはどこから生まれるのか
 - ・イノベーションを生み出す組織&風土
 - ・ビジョン、戦略、危機感のコミットメント
 - ・カオス(混沌)と秩序のバランスマネジメント
 - ・創発人材とイノベーションを牽引するリーダーの重要性



「R&Dマネジメント力」を修得し、
企業で実践することでイノベーションを生み出す

参加要項

参加対象

- 研究所、開発部門、事業部門等で研究・技術開発に携わる方々
- 研究・技術企画部門、経営企画部門等でR&D戦略に携わる方々
- イノベーション創出のヒントを探求している方々

開催期間

2017年2月～3月の全4日間（日程は下記をご確認願います）

*開催時間は全セッション共に13:00～17:00となります。

開催会場

企業研究会セミナールーム、他

受講料（1名：消費税、資料代込み）

本コースは各セッション1日単位での選択申し込みが可能です。
全セッションを受講される際は、下記の通り割引料金となります。
お申し込みの際は、受講を希望されるセッションの「チェック欄」に「○」をご記入ください。

●全セッション(4日間)受講料●

受講日	正会員	一般	チェック欄
全セッション	97,200円 (本体価格：90,000円)	106,920円 (本体価格：99,000円)	

●各セッション受講料●

受講日	正会員	一般	チェック欄
セッションⅠ 2/6 (月)	32,400円 (本体価格：30,000円)	35,640円 (本体価格：33,000円)	
セッションⅡ 2/20 (月)	32,400円 (本体価格：30,000円)	35,640円 (本体価格：33,000円)	
セッションⅢ 3/6 (月)	32,400円 (本体価格：30,000円)	35,640円 (本体価格：33,000円)	
セッションⅣ 3/21 (火)	32,400円 (本体価格：30,000円)	35,640円 (本体価格：33,000円)	

* 会員登録の有無は、次の手順でご確認いただけます。弊会ホームページ <https://www.bri.or.jp> (TOP) → (会員一覧)

お問い合わせ

【担当】 一般社団法人企業研究会 事務局：木村 徳孝

〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 麹町M-SQUAREビル 2F
TEL：03(5215)3513 / FAX：03(5215)0951～2
E-mail:kimura@bri.or.jp

お申込方法

下記に必要事項を記入の上、FAXもしくは弊会のwebサイト(<https://www.bri.or.jp>)にてお申し込みください。

お支払方法

お申し込み確認後に請求書をお送りいたします。銀行振込でお願いします。

FAX:03-5215-0951～2

「R&Dマネジメント力」養成プログラム申込書

160139	「R&Dマネジメント力」養成プログラム	2017.02～2017.03
氏名(フリガナ)	企業・団体名	
所属・役職		
企業・団体所在地	Tel	
	Fax	
	E-mail	

※お客様の個人情報は、本研究会に関する連絡・確認および弊会主催のご案内のお送りする際に利用させていただきます。